

第13回教育委員会会議

1 日時 令和6年8月6日（火） 午後3時30分～午後5時00分

2 場所 大阪市役所本庁舎屋上階 P1 共通会議室

3 出席者

多田 勝哉	教育長
平井 正朗	教育長職務代理者
巽 樹理	委員
大竹 伸一	委員
赤木 登代	委員
長谷川 葵	委員
藤巻 幸嗣	教育次長
御栗 一智	東成区担当教育次長
工藤 誠	福島区担当教育次長
福山 英利	教育監
松田 淳至	総務部長
松浦 令	政策推進担当部長
大西 啓嗣	指導部長
本 教宏	第1教育ブロック担当部長
杉本 和由	第2教育ブロック担当部長
中道 篤史	第3教育ブロック担当部長
小花 浩文	第4教育ブロック担当部長
富山富士子	総合教育センター所長
橋本 洋祐	総務課長
乗京 慎二	初等・中学校教育担当課長
大竹野謙一	首席指導主事
甲斐 哲夫	首席指導主事

瀬脇 浩 首席指導主事

徳元 公美 首席指導主事

伊藤 純治 教育政策課長

川村 晃子 教育政策課長代理

ほか指導主事、担当係長、担当係員

4 次第

(1) 教育長より開会を宣告

(2) 教育長より会議録署名者に長谷川委員を指名

(3) 案件

議案第83号 裁決書の教示について

議案第84号 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について

(4) 議事要旨

議案第83号「裁決書の教示について」を上程。

松田総務部長からの説明要旨は次のとおりである。

「1 事案の概要」について、令和6年7月16日付け第11回教育委員会会議において議決した議案第77号（令和6年7月24日付け大市教委第1214号裁決）について、令和6年7月24日付けで裁決の通知を行ったところであるが、行政事件訴訟法第46条第1項に基づく教示ができていなかったことから、今回、改めて議案としてお諮りし、請求人に対して教示を行うものである。教示の内容については、「2 教示の内容」をご参照いただきたい。議決をいただけたら、「裁決書の教示について」を請求人宛てに送付する予定である。

採決の結果、委員全員異議なく、原案どおり可決。

議案第84号「令和7年度使用中学校教科用図書の採択について」を上程。

大西指導部長からの説明要旨は次のとおりである。

議案書2ページについて、令和7年度使用中学校教科用図書については、「執行機関の附属機関に関する条例」に基づき設置された大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

（以下、「選定委員会」という。）の厳正かつ公正な調査研究を経た答申を参照し、より学校現場の実情に応じた教科書採択を進めるために、4採択地区とし、地区ごとに全16種目についてそれぞれ1者の教科書を採択いただくこととしており、3ページ以降は、見本本発行者一覧を掲載している。議案書以外の配付資料としては、各地区の答申資料と調査の観点を綴じたものとなる。

次に、教科書採択の流れについて、説明申しあげる。第1回、第2回の選定委員会では、「調査の観点（案）」を全体会で審議し、策定した。その後の地区部会において、各地区の実情や課題をふまえた、より大切にしたい観点を抽出し、重点化が図られた。その後、学校の教員が行う「学校調査会」及び各種目の専門調査員が行う「専門調査会」において、調査の観点に沿って「特に優れている点」や、「特に工夫・配慮を要する点」を調査研究された。その調査結果の報告を受けた選定委員会の各地区部会で協議を深め、その場での議決をもって優位性の高い教科書について判断し、『答申資料の総評欄』に、重点化された観点に関わる調査・研究の結果を列挙するなど、採択権者である教育委員会の判断に資するための答申を作成していただいた。7月16日の教育委員会会議において、選定委員会から教育委員会に答申が手交され、その後の協議題では、地区ごとの実情や課題について詳しく説明し、それらをふまえた「調査の観点」の重点化について説明と優位性のある教科書について説明をさせていただいたところである。7月30日の協議題では、答申内容について、各地区部会にて、どの教科書に優位性があるのかということについて、複数の教科書をあげながら報告させていただいた。その後、教育委員の皆さまには、各自の調査研究をふまえながら、多角的な観点から、さまざまにご協議をいただき本日に至っている。

質疑の概要は次のとおりである。

【多田教育長】教科書採択につきましては、今年度も、オープンな場での丁寧な議論を確保する観点から、選定委員会への諮問について、公開の教育委員会会議において、諮問の理由を付して諮問する形で行いました。また、会議の傍聴について、静ひつな環境を確保しつつ、本日、傍聴規則に基づき、会場の定員も考慮しつつ、可能な限り傍聴者の方、皆様方に直接傍聴をいただく形をとらせていただいております。

教育委員会といたしましては、今回の教科書採択にあたり、採択権者としての責任を果たすために、調査の大きな方向性として、今日的な教育課題等の留意すべき点について、選定委員会にお示しをしました。選定委員会や各調査会には、それらの留意点をふまえ、

多くの時間と労力をかけ、調査研究に努めていただきました。

先ほど説明がありましたように、7月30日の協議題では、事務局から、地区ごとに、優位性のある教科書について、議論の状況等も含め、説明を受けました。教育委員の皆様方には、選定委員会の答申資料をご覧いただき、さまざまな観点からご意見をいただきました。その中で、採択にあたりましては、基本的には、学校調査会と専門調査会の調査結果をふまえた選定委員会の答申内容を尊重したいというお声や、採択される教科書がどの教科書であっても、それらを現場の先生方がいかに活用し子どもたちの確かな学びにつなげることができるか、その為に、教育委員会事務局がいかに指導・支援していくかが大切である、というご意見をいただいたところでございます。

この後、「国語」から「道徳」までの全て16種目ございますが、種目ごとに、採択を進めてまいります。いずれの採択におきましても、前回の協議をふまえ、選定委員会からの答申において優位性が高いと示された教科書1者を原案としてあげながら、審議を進めてまいります。その際、優位性が高いと示されたものについて、各地区より説明をお願いいたします。

それでは、採択にあたりまして、あらためて先生方、教育委員の皆様方にご意見をいただきたいと存じます。まずは、全体に関わることや、この後の採択の進め方につきまして、ご意見がございましたら挙手をお願いしたいと思います。

【大竹委員】 前回の選定の考え方ということなのですが、これまでの教育委員会会議の中でもご意見は言わせていただいておりますけれども、再度確認をさせていただきます。教科書選定の基本は、やはり実際に教科書を使用されている現場の学校の先生方の判断を尊重したいというのが私自身の基本でありますけれども、大阪は非常に大きな都市ですから、地区ごとの実情に合わせた教科書の選定基準を設けておられると思いますが、そういったものを設けた中で教科書選定のプロセスの透明性は十分に担保されているかどうかを改めてお聞きしたいのと同時に、現場の教員の方の声がどこまできちんと選定の中に反映されているかどうか、そこを改めてお聞かせ願えれば有難いと思います。

【大西指導部長】 調査のプロセスというご質問でございますが、学校調査会におきましては、各学校の教員が調査の観点に沿いまして、それぞれ特に優れている点、また配慮を要する点の調査研究を全ての学校において行ってございます。その学校調査会の調査結果につきまして、全てを集約することにより、各地区の優位性が明らかになるということになっております。調査結果につきましては、それをふまえまして、専門調査会におい

てその調査を進めるうえで、その結果を参考にしながらふまえた調査を専門調査会におきましても行います。併せまして、選定委員会にも学校調査の結果を基にそれぞれ専門調査会の報告も合わせて協議を深めていただきながら選定委員会において優位性等の最終的な判断をいただくというような仕組みで進めているというところでございます。

【大竹委員】 それぞれ独立した学校調査会、専門調査会、その中で独立して議論はされてそれぞれの調査会の意見を明らかにしたということで、そういう面ではお互いが双方に干渉し合うというよりも独立で透明性を担保して最終的な結論になっていると、こういうような理解でよろしいでしょうか。

【大西指導部長】 その通りでございます。

【大竹委員】 はい、わかりました。

【多田教育長】 他にご意見、ご質問等がないようですので、先ほど、申しあげましたように、種目ごとに採択を進めてまいります。これまでの事務局からの報告、答申の内容や、学校現場からの意見などについて、何かご意見がございましたら、その都度、挙手のうえ、ご発言いただきますようお願いをいたします。

それではまず、各採択地区の現状と課題認識について簡単にご説明いただき、採択に入っていきたいと思います。

各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区については、此花区、港区、西淀川区、淀川区、東淀川区の5区で構成された淀川流域に沿って、東西に位置する地域である。個々の学校の状況は異なるが、この間、学力について、改善状況にはあるものの、まだまだ課題を有する学校が多く、5区とも大阪市平均と比して、やや低い状況が続いている。そういったことから、第1地区においては、重点的に対応すべき課題について、基礎となる資質・能力の育成として、今後重要となる総合的読解力の育成を見据え、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3観点をバランスよく育むことが必要と考え、全ての種目に共通して重点としている。残り二つの重点について、種目の特徴によって重点化する観点を分けている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区については、北区、都島区、福島区、東成区、旭区、城東区、鶴見区の7区で構成されている。地区の特徴としては、学力面では、基礎学力の定着はみられるものの「学力上位層」と「学力下位層」の二極化がみられ

る。また「思考力・判断力・表現力」に課題もみられる。そういったことから、第2地区においては、「自主的・自発的な学習」「個々の習熟に応じた発展的・補充的な学習」「思考力・判断力・表現力の育成」「知識と生活との結びつきや教科等横断的な視点」の四つの観点と、教科の特性により「情報活用能力」と「体験活動」に分けた観点一つを重点化する観点としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区については、中央区、西区、大正区、浪速区、住之江区、住吉区、西成区の7区で構成されている。地区の特徴として、学力面では基礎基本の定着の差からくる二極化に加え、思考力・判断力・表現力に課題が見られる。また、海外からの児童生徒が増加傾向にあり、グローバルな視点や多様性を受け入れる視点も必要である。そういったことから、第3地区においては、「多様性を尊重し協働する力」、「思考力・判断力・表現力等」、「言語能力など学習の基盤となる資質・能力」、「教科横断的な視点からのカリキュラムマネジメントの推進」の四つの観点と教科等の特性を鑑みた観点一つを重点化することとした。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区については、天王寺区、生野区、阿倍野区、東住吉区、平野区の5区で構成されている。当地区では、読解力に関する課題や外国人生徒増加の状況等をふまえ、地区独自に「読解力に焦点をあてた授業の研究・実践」、「SDGsの具体的な取組」を重点目標に設定したうえで、取組課題を掲げ、学力の向上に取り組んでいる。それらの重点目標及び取組課題を踏まえ、第4地区においては、「多様性を尊重し協働する力」、「学びに向かう力、人間性等」、「言語能力等の学習の基盤となる資質・能力」、「知識と生活との結びつきや教科等横断的な視点」の四つの観点と、それぞれの教科・種目の特性を鑑みた一つを重点化する観点とした。

「国語」について、各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区においては、巻頭の「領域別教材一覧」「この教科書の使い方」、各単元の「学びの道しるべ」というページで生徒が学習の見通しをもちやすくするために工夫されているため、「三省堂」を優位性の高い教科書としている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区においては、「学びの道しるべ」に学習目標や学習過程が明示されているため、生徒が見通しを持って自主的に学習へ向かうことができるよう工夫されているため、「三省堂」を優位性の高い教科書としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区においては、「読み方を学ぼう」では、

単元の学習活動から読解の汎用的な方略を学べるよう配置され、読解力の基盤となる資質・能力を育成できるよう配慮されているため、「三省堂」を優位性の高い教科書としている。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区においては、統計資料が多く使われており、読み取った情報を活用する力や自分の考えを深める力を育成する工夫がなされているため、「三省堂」を優位性の高い教科書としている。

【多田教育長】 国語については、第1地区から第4地区まで「三省堂」に優位性があるとしている。

質疑の概要は次のとおりである。

【平井委員】 テキストについては毎年、現場サイドが選べばよいと申しあげています。先ほど、思考、判断、表現力という言葉が出ていましたが、その中で特に表現力が全国学力テストを見てもかなり低かったということ、設問分析すると、資料の読み取りが増えて時間がかかってしまったということが背景にあります。教科書選定の次に到達度に合わせて何を教えるかというシラバスを作成されることになりましたが、選んだ教科書の説明責任を果たす意味でも表現力に焦点を合わせていただきたいと思います。本市の強みの一つに一人一台タブレットがあります。今回の学力テストもそうですが、ICTを活用して授業で表現力を高める授業を受けた生徒は、得点率が高いという結果が出ています。本市の場合、恵まれた環境があるわけですから、ICTの活用をさらにすすめた授業実践を考えていただきたいと思いますというのが二つ目です。三つ目は、海外ルーツの児童生徒等が増えてきています。学びの保障をしていくためには日本語の力が必要です。限られた学校の時間の中で国語の時間の重みは非常に重要だと思いますので、教科書を上手に工夫しながら生徒個々の能力を高める個別最適な学びの構築をお願いしたいです。いずれにしても現場サイドで選んだものが最高の教材であることは間違いないと思いますので、適切なカリキュラムマネジメントで生徒の到達度が上がるよう、教育委員会事務局が中心になって各校をサポートしてほしいと思います。

採決の結果、委員全員異議なく、国語について、第1地区から第4地区ともに「三省堂」を採択することを可決。

「書写」について、各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区においては、「学びのカギ」が設定されていることにより、学習の見通しがもて、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫されているため、「光村図書出版」を優位性の高い教科書としている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区においては、「書写ブック」は毛筆と硬筆を対応させた学習内容になっており、生徒が関連性を意識して書写の能力を習得できるよう工夫されているため、「光村図書出版」を優位性の高い教科書としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区においては、毛筆の手本の大きさを実寸大（半紙）にするなどの工夫がされている例が多く、毛筆に加え硬筆による書写の能力の基礎を育成するよう工夫されているため、「光村図書出版」を優位性の高い教科書としている。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区においては、新聞作成や情報誌作成において、グループでの読み合い活動だけではなく編集会議の開催を提案しており、体験活動を体系的に実施できるよう配慮がなされているため、「三省堂」を優位性の高い教科書としている。

【多田教育長】 書写については、第1地区から第3地区まで「光村図書出版」、第4地区においては「三省堂」に優位性があるとしている。

質疑の概要は次のとおりである。

【平井委員】 各エリアで選んだら良いと思いますが、グローバル化の進展とともに、益々、多文化共生社会の構築が求められます。同時に、日本文化の発信も問われるのは自明であり、その意味で、書写は重要な科目です。それも生徒たちが取り組んだ作品がどのような形で評価されるのか、また、海外に向かって日本文化をどのように発信していくのかも教材研究の中に入れてほしいものです。

【多田教育長】 ありがとうございます。本日見本本の方もご用意させていただいております。ご指示いただきましたらご用意させていただきますのでよろしくお願いいたします。

採決の結果、委員全員異議なく、書写について、第1地区から第3地区においては「光村図書出版」、第4地区においては「三省堂」を採択することを可決。

「社会・地理的分野」について、各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区においては、各種統計資料等を読み取る際のポイントを記載することで、適切な活用を促すことができるよう工夫されているため、「帝国書院」を優位性の高い教科書としている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区においては、写真、図、加工された地図などを効果的に配置することで、生徒が資料を活用し、社会的事象を意味追究することができるよう工夫されているため、「帝国書院」を優位性の高い教科書としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区においては、学習節ごとに学習内容の振り返りページがあり、思考ツールなどを活用して考えの整理や、議論ができるよう工夫がみられるため、「帝国書院」を優位性の高い教科書としている。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区においては、持続可能な社会を作るための参考になる取組が、環境や防災など、様々な視点で紹介されており、自分事としてとらえることができるよう工夫がなされているため、「帝国書院」を優位性の高い教科書としている。

【多田教育長】 社会・地理的分野については、第1地区から第4地区まで「帝国書院」に優位性があるとしている。

質疑の概要は次のとおりである。

【大竹委員】 地理もこれから本当に生きていくには、データをどう読み解くかということです。与えられた知識を得るというよりも、データを見てどう読み解くかということが大切だと思いますし、いろいろな比較検証、写真でもエリアごとの写真を見て比較検討して、自分の考えをまとめるということが大切だと思います。第1地区から第4地区のそれぞれの優位性、選定理由の中にはデータを上手く自分で読み解く力が身につくようにということをあげられておりますし、写真の比較ということでも自分の意見が言えるということです。ぜひ生徒のそういった発想を頭から「こういうのはこういうふうに読むんだよ」ということではなくて、今でもそうはしていないと思いますけれども、ぜひ生徒の自発的な考え方、たまには間違った考え方をする人もありますけれども、それはそれで結構だとは思いますが、生徒の発想を第一に考えてそれから正す点は正していくというような指導法をしっかりと行っていただければ有難いと思います。それに適した教科書が今回は帝国書院だということですので、それはそれで結構だと思います。

【平井委員】 高等学校は新課程になってから地理総合が必須科目になりました。地理は今まで選択科目でしたが、新課程になって必須科目になりました。高等学校に進学する割合が90数パーセントを超える時代ですから、教科のつながりも考えて年間指導計画を立ててPDCAサイクルを回してほしいと思います。地理については空間的なもの、歴史が時間的なものと捉えて中高連携がスムーズにいく仕組みづくりが必要ではないでしょうか。

採決の結果、委員全員異議なく、社会・地理的分野について、第1地区から第4地区ともに「帝国書院」を採択することを可決。

「社会・歴史的分野」について、各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区においては、「未来に向けて」のコラムでは6テーマを設け、教科等横断的な視点でのコラムが配置されるなど工夫されているため、「帝国書院」を優位性の高い教科書としている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区においては、地図や写真等の資料に配置されている問いは、資料を適切に読み取るためのヒントになるように配慮されているため、「日本文教出版」を優位性の高い教科書としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区においては、「もっと知りたい」（特設ページ）では、探究課題が設定されており、現代の生活につながるような工夫がなされているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区においては、特設頁で各時代を大観できるとともに、時代ごとのイラストを比較することで、人々の生活の変化や社会の発展に気づくことができるよう工夫がなされているため、「帝国書院」を優位性の高い教科書としている。

【多田教育長】 社会・歴史的分野については、第1地区は「帝国書院」、第2地区においては「日本文教出版」、第3地区においては「東京書籍」、第4地区においては「帝国書院」に優位性があるとしている。

質疑の概要は次のとおりである。

【大竹委員】 社会も高校を含めてですけれども、現代史を重要視する傾向にありますし、やはり今に生きる生徒ということでは、未来志向、今のおかれている状況を的確に

判断するということが大事であります。今あげられた四つの東京書籍、帝国書院云々というところは、全てSDGsというようなこと、あるいはよりよい社会に向けて多面的に洞察を加えるには東京書籍は良いということですね。第2地区では、現代社会における国際問題等のテーマも取り上げた、みなさんそれぞれ国際のところ、あるいは現代史のところについては特徴があって、それぞれいろいろな観点で考えているし、地区ごとの選択をするときもそういったものも見られているということですので、過去の歴史もいいのですけれども、今生きるということはこれからどのような世の中になっていくのかということをやはいろいろな素材で考えさせるということが大事で、各地区があげられた選ばれた教科書は本編ではどれも甲乙つけがたいと思っておりますので、ぜひそういった面で指導のときに配慮していただければ有難いです。

【平井委員】 歴史について言いますと、高校の歴史総合という科目では以前のように古代からの日本史や世界史を勉強するのではなく、近代以降の日本史、世界史両方とも扱い基礎知識を学ぶ内容になっています。選定されたテキストもそのようなことに配慮されていると思いますので、中高のつながりを意識した指導をされることを望みます。

採決の結果、委員全員異議なく、社会・歴史的分野について、第1地区は「帝国書院」、第2地区においては「日本文教出版」、第3地区においては「東京書籍」、第4地区においては「帝国書院」を採択することを可決。

「社会・公民的分野」について、各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区においては、「学習の前に」において、自ら学習課題に関心を持ち、対話的に活動し、自発的に学びを深めることができるよう工夫されているため、「帝国書院」を優位性の高い教科書としている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区においては、主体的・対話的な学びから深い学びにつなげる活動・コーナーが充実し、社会的事象を多面的・多角的に考察して公正に判断し、議論する力を養うよう工夫されているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区においては、教科等横断的な単元を取り扱う際に教科と単元名だけでなく、「もっと知りたい」（特設ページ）でも、生活との結び付きを意識できるように工夫されているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書として

いる。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区においては、各章末の振り返りにおいては、年間を通して同じルーティンで学習内容のまとめに取り組むことができ、問題解決の能力を育成できるよう工夫がなされているため、「帝国書院」を優位性の高い教科書としている。

【多田教育長】 社会・公民的分野については、第1地区と第4地区においては、「帝国書院」、第2地区と第3地区においては「東京書籍」に優位性があるとしている。

採決の結果、委員全員異議なく、社会・公民的分野について、第1地区と第4地区においては「帝国書院」、第2地区と第3地区においては「東京書籍」を採択することを可決。

「地図」について、各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区においては、日本の領土・領域及び排他的経済水域について、地図及び模式図と写真によって、生徒の理解の一助となるよう工夫されているため、「帝国書院」を優位性の高い教科書としている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区においては、世界地図の中にその地域の衣食住や食文化などが、多種多様なイラストで描かれており、他教科の学習へ生かすことができるよう工夫されているため、「帝国書院」を優位性の高い教科書としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区においては、世界各州の鳥瞰表現の地図が設置されており、地域的特色を大観し、考察できる工夫がされているため、「帝国書院」を優位性の高い教科書としている。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区においては、統計資料が最新のデータを扱っており、過去のデータと比較し学ぶことができるよう工夫がなされているため、「帝国書院」を優位性の高い教科書としている。

【多田教育長】 地図については、第1地区から第4地区ともに「帝国書院」に優位性があるとしている。

採決の結果、委員全員異議なく、地図について、第1地区から第4地区ともに「帝国書院」を採択することを可決。

「数学」について、各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区においては、 数学的な語句の意味が説明されている箇所では、直後に分かりやすい例等で補充説明がされており、数学的に処理する能力を着実に身に付けられるよう工夫されているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区においては、章末に個々の習熟度に応じた問題が設けられ、ヒントや類題も示されていることから、補充的・発展的な学習をすることができるよう工夫されているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区においては、既習事項と関連させたり、条件を変えたりするなど、統合的・発展的に考察する力を育成できるよう工夫されているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区においては、「環境」「伝統・文化」など、さまざまなテーマを数学的視点から考察させることによって、持続可能な社会づくりに向けた態度の育成を図るよう工夫がなされているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【多田教育長】 数学については、第1地区から第4地区まで「東京書籍」に優位性があるとしている。

質疑の概要は次のとおりである。

【大竹委員】 数学については、4地区のうち3地区で現行の発行者と入れ替わった選択をして非常に興味深い傾向が出ていると思います。それぞれの地区で決め手となったところを再度教えていただければ有難いです。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区につきましては、数学的な語句の意味が説明されている箇所で直後にわかりやすい例で補充説明がされており、基礎基本となる考え方が詳しく解説されております。また、特に丁寧でわかりやすい簡素な説明になっていて、生徒のつまずきを生みにくいものとなっており、数学的に処理する能力を着実に身に付けられるよう工夫されているものと評価をしております。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区におきましては、章末に「補充問題、章末問題A」、「発展的問題、章末問題B」が充実しており、章末問題Bには自ら進んで取り組む問題ですと記載があり、第2地区で重視している思考力・判断力・表現力の育成に

もつながる文章問題も豊富であり、東京書籍を評価しているところでございます。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区ですけれども、先ほどの説明に少し具体的になりますが、例題の中で、「同じように考えると」や「それなら」という吹き出しがありまして、小学校のときの既習事項、例えば分数や小数などと関連して徹底的に考察されるように工夫されているようなところが大きな特徴になっております。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区におきましては、「数学の目で振り返ろう」というところがございまして、その学年だけではなくそれまでに学習した問題を解決した場合に使った考えを振り返ることができるような配慮がされておりまして、そういった点からも東京書籍を優位性の高い教科書としたところでございます。

【平井委員】 数学は二極化を緩和するためにもICTを活用した個別最適学習を組み込んで教科指導していただきたく思います。近年の中学校や高等学校の数学の授業を見ますと50分の授業があつて一人の先生がトップダウン型で授業をするというケースが減っています。授業の一部は、先生が教えるけれども、その後は教科書準拠版のICT教材を使って生徒が問題を解くとAIが自動解析して到達度に合う問題を出すというのがありふれた光景となってきました。教科書はもちろん現場サイドが選んだのでよいのですが、使い方の問題で個別最適な学びというのは学習指導要領の中に謳われています。それができる教科の代表が数学ですので、そういう意味で教科書準拠のICT教材を組み合わせたシラバス作成をお願いしたいです。文科省は、高度人材育成に向けて、DXハイスクールを指定したり、産官学の共同でより教育のレベルアップを図ろうとしています。本市には一人一台の恵まれた環境があるわけですから、教科書準拠のICTを活用して、数学嫌いをつくらない実践をしていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

【大西指導部長】 ありがとうございます。本市の方で整えておりますICTも含めた環境を活かしまして、今ご指南いただきましたような活用に向けた視点で取組を進めるよう指導部が年間指導計画への策定も含めて進め方を各校に周知してまいりたいと思います。

採決の結果、委員全員異議なく、数学について、第1地区から第4地区ともに「東京書籍」を採択することを可決。

「理科」について、各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区においては、全ての単元において探究、

話し合い活動を促す記述とそれを補助する考え方や図解、活動例があり、探究や話し合い活動ができるよう配慮されているため、「新興出版社啓林館」を優位性の高い教科書としている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区においては、基本的な用語の確認から学びを生活につなげる課題が設定されており、生徒が身近な科学に目を向け、自主的に課題に取り組めるよう工夫されているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区においては、主体的に生徒が取り組むことのできるように身近な食べ物を用いた実験例が掲載されており、理科知識と日常生活が結び付きやすいよう配慮されているため、「新興出版社啓林館」を優位性の高い教科書としている。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区においては、SDGsに関係したコラムや資料が掲載されており、持続可能な社会に向けた態度等の育成が図られるよう工夫がなされているため、「新興出版社啓林館」を優位性の高い教科書としている。

【多田教育長】 理科については、第1地区、第3地区、第4地区においては「新興出版社啓林館」、第2地区においては「東京書籍」に優位性があるとしている。

質疑の概要は次のとおりである。

【平井委員】 理科という教科は探究学習に近いと思います。その意味では主体的、対話的で深い学びを指導の中に組み込んでいただきたいです。深い学びは教育現場サイドでもなかなか展開しにくいところであり、苦勞するところですが、選定した教科書会社に資料の提供を依頼するなど、授業に工夫をもたせるようにしていただきたいと思います。

採決の結果、委員全員異議なく、理科について、第1地区、第3地区、第4地区においては「新興出版社啓林館」、第2地区においては「東京書籍」を採択することを可決。

「音楽・一般」について、各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区においては、二次元コードがページの右下に掲載され、内容に関する記号と説明が添えられており、生徒が活用しやすいよう配慮されているため、「教育芸術社」を優位性の高い教科書としている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区においては、「My voice!」では、具体

的な発声方法が示されており、発達の段階や個々の習熟の程度に応じて発展的な学習などに取り組みやすいように配慮されているため、「教育芸術社」を優位性の高い教科書としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区においては、「学びのコンパス」では、グループワークを通して話し合いをし、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かす力をつけることができるよう工夫されているため、「教育芸術社」を優位性の高い教科書としている。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区においては、大阪の伝統芸能に愛着が持てるように、体験する活動を取り入れ、他の芸能と関連付けるなど、体系的かつ継続的に取り扱うことができるように工夫がなされているため、「教育芸術社」を優位性の高い教科書としている。

【多田教育長】 音楽・一般については、第1地区から第4地区まで「教育芸術社」に優位性があるとしている。

採決の結果、委員全員異議なく、音楽・一般について、第1地区から第4地区ともに「教育芸術社」を採択することを可決。

「音楽・器楽」について、各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区においては、巻頭の目次以外に学習内容の一覧が配置されており、音楽を形づくっている要素や学習内容と教材の関連について明記され、分かりやすいよう工夫されているため、「教育芸術社」を優位性の高い教科書としている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区においては、楽器の演奏について、姿勢、口の形、呼吸、奏法など細かく分けて表記されている。また動画で見られるようになっており、自主的に学習ができるよう工夫されているため、「教育芸術社」を優位性の高い教科書としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区においては、和楽器を用いた歴史的背景についての記述があることに加え、地域の伝統芸能等とのつながりが紹介されるなど工夫されているため、「教育芸術社」を優位性の高い教科書としている。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区においては、伝統的な楽器の知識と理

解を深め、多様な音楽表現の可能性について紹介し、持続可能な社会づくりについて学びを深めることができるように配慮がなされているため、「教育芸術社」を優位性の高い教科書としている。

【多田教育長】 音楽・器楽については、第1地区から第4地区まで「教育芸術社」に優位性があるとしている。

採決の結果、委員全員異議なく、音楽・器楽について、第1地区から第4地区ともに「教育芸術社」を採択することを可決。

「美術」について、各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区においては、題材について説明する文章の内容に具体性があるため、学習の趣旨や活動内容をイメージしやすく、自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されているため、「日本文教出版」を優位性の高い教科書としている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区においては、巻末資料に「1年」「2年・3年上、下」の順に発展した内容載せることにより、補充的な学習を進めやすいよう工夫されているため、「日本文教出版」を優位性の高い教科書としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区においては、他教科とのつながりがある題材について明確に提示されており、教科等横断的な視点を持つことができるよう工夫されているため、「光村図書出版」を優位性の高い教科書としている。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区においては、他教科とのつながりをコラムで紹介し、教科等横断的な視点から理解できるよう配慮がなされているため、「光村図書出版」を優位性の高い教科書としている。

【多田教育長】 美術については、第1地区・第2地区においては「日本文教出版」、第3地区・第4地区においては「光村図書出版」に優位性があるとしている。

質疑の概要は次のとおりである。

【平井委員】 美術については、STEAM教育のアートについての議論はありましたか。第3地区、第4地区で教科等横断的とおっしゃっていたので、そこで議論があったのかと思いました。STEAM教育のアートの部分は重要視されていますので、これについて議論があ

ったかどうかだけ教えていただけますか。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区におきまして、地区部会の議論の中ではSTEAM教育についての言及はございませんでした。専門調査会等の中ではあったかというふうに考えております。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区におきましても、他の教科との教科等横断的ということはありませんでしたが、STEAMという視点については選定委員会の中では上がってございません。

【平井委員】 ありがとうございます。教科横断という言葉は、なかなか具体的な視点が見えにくいのではないのでしょうか。STEAMと言ってもわかりにくいかもしれませんが、要するに、美術、つまり、アートの重要性が説かれていることは事実ですので、その点にも配慮しておいたほうがよいと思います。

採決の結果、委員全員異議なく、美術について、第1地区と第2地区においては「日本文教出版」、第3地区と第4地区においては「光村図書出版」を採択することを可決。

「保健体育」について、各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区においては、関連する学習内容について、他教科にあることが示されており、教科等横断的な視点をもちながら学習に取り組むことができるよう工夫されているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区においては、資料活用に際しては、絵図と写真が効果的に組み合わせられていることで、生活の中で注意すべき点が想像しやすくなるよう配慮されているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区においては、運動や健康についての課題が例示されており、生徒自らが考え、その意見を他者と話し合うことができるよう配慮されているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区においては、学習内容に関連するページや他教科の関連する学習内容が紹介されているなど、教科等横断的な視点の工夫がなされているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【多田教育長】 保健体育については、第1地区から第4地区ともに「東京書籍」に優位性があるとしている。

質疑の概要は次のとおりである。

【異委員】 本市の振興基本計画の重点目標の一つに学力と併せて体力向上ということがあげられています。本市だけではなく全国的にもコロナ以降、体力の低下が課題の一つであると認識していますが、今回の保健体育の採択にあたって、課題である体力向上、そして健康、これは心も体もです。健康の大切さ、こういった点で意識をされた点や観点があったかの確認をさせてください。

【本第1教育ブロック担当部長】 異委員のお尋ねの項目については、項目2、未来を切り開く学力・体力の向上にかかる観点として学習指導要領の目標のうちの3つの柱にかかる10項目として観点1、2、3を設定しております。その中で観点3、生涯にわたって運動に親しむと共に健康の保持増進と体力の向上をめざし、明るく豊かな生活を営む態度を養うことができるよう配慮されているかということにつきましては、第1採択地区、第4採択地区で重点化し調査を行っております。第1採択地区につきましては、保健分野におきまして、見据える学習課題、課題の解決、活用するといった活動を通して現在や将来の生活における健康増進のために実践につながるよう工夫されている点を評価いたしております。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4採択地区では、東京書籍におきまして、思春期の生活習慣の大切さなどに触れ生涯にわたってスポーツに親しむイメージができるよう工夫がされている、こういった評価をしているところでございます。

【異委員】 ありがとうございます。本当に生涯にわたり自分の体とは一生付き合っていけないといけないので、なぜ運動が大切なのか、なぜ健康を大切にしないといけないのかというところは非常に重要なところかと思っております。4地区とも東京書籍ということでは結構です。

【長谷川委員】 保健の観点ですけれども、以前から保健の教科書では男女の性については説明があったと思いますが、最近言われている性の多様性についてどのように書かれているのか、全ての地区が東京書籍を選ばれているので、特にこの教科書でどのように書かれているのか、また多様性の観点というのは第3地区と第4地区で重点化の観点としてあげられていましたので、その2地区でここがどのような評価になっているのかというのを教えていただきたいと思います。

【中道第3教育ブロック担当部長】 東京書籍では性の多様性について、単元での学

習だけでなく、章末資料、視聴覚教材の掲載もございまして、複数の学習コンテンツで学びを深めることができるよう工夫されております。項目1の安全・安心な教育の推進の③の観点につきましては、第3地区部会では性の多様性につきまして、性の構成要素がわかりやすく示されており、それぞれが自分らしさの一つであるということを説明している点を評価しております。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区部会では、教科書の本文中の表現につきまして、関心を抱く対象として異性に限定しないで、異性などほかの人との表現を採用してございます。こういった点におきまして、性の多様性についての配慮がなされていると評価しているところでございます。

採決の結果、委員全員異議なく、保健体育について、第1地区から第4地区ともに「東京書籍」を採択することを可決。

「技術・家庭（技術分野）」について、各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区においては、構想する際に、プロトタイプやシミュレーションについて、写真・図で分かりやすく明示されており課題を解決する力を養うことができるよう工夫されているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区においては、問題解決例が複数記載されているので、発達段階に応じて、生徒がより良い解決策を構想しながら課題解決学習に取り組みやすいように工夫されているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区においては、各章の内容ごとに未来へのアプローチについての記載があり、持続可能な社会づくりに向けた態度の育成が図られるよう工夫されているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区においては、各所において「持続可能な技術」について取り上げており、持続可能な社会の構築に向けた態度の育成を図る工夫がなされているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【多田教育長】 技術・家庭（技術分野）については、第1地区から第4地区ともに「東京書籍」に優位性があるとしている。

質疑の概要は次のとおりである。

【平井委員】 論理的思考力を高める意味でプログラミングに関する議論はありましたか。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区でございますが、プログラミングの議論はありませんでした。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区でございますが、プログラミングの議論はありませんでした。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区も同様にプログラミングという言葉については出てきておりません。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区も同様でございます。

【平井委員】 教科学習の基本は本質を学ぶことであり、プログラミングはツールとなります。背景知識をつけて論理的思考力を鍛え、課題発見・解決力をつけるという大命題に向けた取組を期待します。

採決の結果、委員全員異議なく、技術・家庭（技術分野）について、第1地区から第4地区ともに「東京書籍」を採択することを可決。

「技術・家庭（家庭分野）」について、各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区においては、写真が大きく手順も分かりやすく、左利きの場合の仕方も掲載されており、基礎的な技能を身に付けることができるよう配慮されているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区においては、各項目に目標、学習課題を明確に示し、「レッツスタート」に課題に取り組むための方向性やヒントがわかりやすく記述して、関心・意欲を引き出すよう工夫されているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区においては、社会科で学ぶ世界の人口グラフ等の資料や理科で学ぶ汚染問題に関わる記載があり、教科等横断的な視点をもてるよう配慮されているため、「開隆堂出版」を優位性の高い教科書としている。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区においては、各項に目標とともに学習課題が明記されており、生活の中から課題を見出すことが容易であり、問題発見・解決能

力の育成が図られるよう工夫がなされているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【多田教育長】 技術・家庭（家庭分野）については、第1地区・第2地区・第4地区は「東京書籍」、第3地区は「開隆堂出版」に優位性があるとしている。

採決の結果、委員全員異議なく、技術・家庭（家庭分野）について、第1地区、第2地区、第4地区においては「東京書籍」、第3地区においては「開隆堂出版」を採択することを可決。

「英語」について、各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区においては、他教科を英語で学習する教材が設定され、どの教科とのつながりがあるか明確に示されており、教科等横断的な学びが深められるよう工夫されているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区においては、各「Unit」では「Part」ごとに4技能すべての学習活動が提示されており、発展的な学習にも活用できるよう配慮されているため、「光村図書出版」を優位性の高い教科書としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区においては、「Power-Up」は対話がショートメッセージのようなレイアウトとなっており、生徒にとって親しみやすく、伝え合う活動に発展させやすいよう工夫されているため、「開隆堂出版」を優位性の高い教科書としている。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区においては、資料から読み取った内容を、英語を使用して様々な形で発表することにより、情報活用能力や問題発見・解決能力の向上を図ることができるよう工夫がなされているため、「東京書籍」を優位性の高い教科書としている。

【多田教育長】 英語については、第1地区・第4地区においては「東京書籍」、第2地区においては「光村図書出版」、第3地区においては「開隆堂出版」に優位性があるとしている。

質疑の概要は次のとおりである。

【赤木委員】 英語については、それぞれの地区が3者の教科書を選んでいてどの教

科書もそれぞれ個性はありますが、コミュニケーションを重視して異文化理解する、それと教科等横断的な学びを意識して作られていて、それぞれに優れた教科書だと思います。ただ、小学校から英語が入ってきていて、中学校になると読み書きが入ってきて各段に難しくなるということで、教科書はいいのですけれども、大学生になって聞いていくという勉強したが英語を使ってコミュニケーションできるという自信がないということです。ぜひコミュニケーションを学ぶにあたって英語に通じたという喜び、実践を重視していただきたいというのがお願いです。

【平井委員】 英語はデジタル教科書が使用できるようになります。実証校になっている学校にメリットとデメリットをヒアリングしていただいて、現場で活用できるようにしてほしいというのが一つ目です。二つ目として、文科省は英語による授業を謳っていますが、大切なことは生徒たちに英語を使える環境を作ることです。選定されたテキストを駆使しながら先生方がどれだけ英語を使える環境を作れるかというところが教える側の腕の見せどころになります。事務局のバックアップが不可欠です。三つ目として、小学校5年生、6年生では英語が教科化されていますが、本市の場合、小学校1年生から課外活動が始まっていて英語に親しむ環境が作られています。これはよいことだと思うのですが、通例、中学校1年生の秋くらいから二極化が始まると言われてきましたが、その前倒しが想定されます。そういった状況をふまえつつ、コミュニケーション力を上げる、これは各学校の方に伝えていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

【大西指導部長】 デジタル教科書の有効な活用、小中連携という視点も今後しっかりと進められるように現場に発信したいと思います。ありがとうございます。

採決の結果、委員全員異議なく、英語について、第1地区と第4地区においては「東京書籍」、第2地区においては「光村図書出版」、第3地区においては「開隆堂出版」を採択することを可決。

「道徳」について、各採択地区からの説明要旨は次のとおりである。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区においては、教材末に設定された「自分との対話」の発問は、教材の学びをふまえており、自己理解をより深めることができるよう工夫されているため、「あかつき教育図書」を優位性の高い教科書としている。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区においては、セルフチェックの教材が設けられていることで、生徒が自身の生活について振り返り、より良い生き方に向けて主体的に考えられるよう工夫されているため、「あかつき教育図書」を優位性の高い教科書としている。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区においては、巻末の内容項目別教材一覧に、他教科との関連とそのテーマが明示され、分かりやすくまとめられているところに工夫がみられるため、「日本文教出版」を優位性の高い教科書としている。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4地区においては、身近なことを題材にした資料から、情報を得て整理をしたり、分かりやすく発信・伝達をしたりするなどの情報活用能力の育成が図られるよう工夫がなされているため、「日本文教出版」を優位性の高い教科書としている。

【多田教育長】 道徳については、第1地区・第2地区においては「あかつき教育図書」、第3地区・第4地区においては「日本文教出版」に優位性があるとしている。

質疑の概要は次のとおりである。

【赤木委員】 道徳に関しては、専門とする教員がいないという特殊な事情がある教科だと考えます。学校に文科省の指導で道徳教育推進教師が配置されているにせよ、教科書によって教員が助けられたり、逆に困難を感じることもあるかと存じます。日本文教出版では「明日を生きる」という教科書ですけれども、各学年に「道徳ノート」というものが付属していますが、これは担当教員の助けになるのでしょうかというのが一つ質問です。それと専門の先生がいないという教科としての道徳の教科書選びに特に配慮した点があったかどうかお伺いしたいです。

【大西指導部長】 選択を含めまして、特別の教科、道徳につきましても教員の資質向上、指導力向上という点で申しあげますと、各校において道徳教育推進教師を中心といたしました、組織的な研究に取り組んでいるところでございます。それに加えまして、教育委員会におきましての事務局と小学校、中学校それぞれの研究会で構成される推進会議というものを設置しております。その推進会議におきまして、校内研修への人的支援、また推進会議が主催する研修等を行いまして、全ての教員の道徳における指導力向上に取り組んでいるところが前提としてございます。また「道徳ノート」等につきましては、各地区の方からお答えさせていただきます。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区では、選定委員会の場で日本文教出版社の「道徳ノート」について、自由記述欄が設けられており、自分の考えを書くだけではなくて、ペアやグループワークで出た相手の意見や共有したことを記録し、これを基に発表することができるという特徴が見られる、その点で専門調査会より報告をされております。最終的には項目4の構成上の工夫の観点①におきまして、先ほど説明いたしました点を評価し、日本文教出版が最も優位性が高い出版社としたところでございます。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4採択地区におきましても、選定委員会にて日本文教出版社の「道徳ノート」について、生徒が授業1時間ごとに振り返りを丁寧に行うことができるということとともに、教員が評価することにおいても役立てることができるということが議論の中で触れられたということがございました。最終的には項目2の未来を切り開く学力、体力の向上の観点4におきまして、先ほどご説明しました点を評価し、日本文教出版が最も優位性が高い出版社としたところでございます。

【平井委員】 道徳は、担任力を伝える一番重要な科目ですが、教科書を拝見したとき、興味深かったのが感想文をAIに書かせるテーマや情報リテラシーに関するテーマ、あるいはネット上のいじめなど、今、クローズアップされているトピックがいろいろな教科書の中に散りばめられていたことです。これはクラスの人間関係を構築させる素材であり、メリットがあります。そういったトピックについての議論があったかどうか教えてください。

【本第1教育ブロック担当部長】 第1地区でございます。いじめ、情報モラル、キャリア、共に生きる社会等につきまして、学年ごとに連続して複数の教材を配置することで様々な視点から考えられるよう工夫される点について評価をしたところでございます。

【杉本第2教育ブロック担当部長】 第2地区でございますが、委員がおっしゃるような中身でいいますと、災害時におけるSNSの活用や性の在り方というような現代的課題を取り扱うということが工夫されている点で評価されているところでございます。

【中道第3教育ブロック担当部長】 第3地区におきましては、教材題材の中にそういったものがございますけれども、地区部会の議論の中ではそういうキーワードは出てきておりません。

【小花第4教育ブロック担当部長】 第4採択地区におきましては、トピックの中の情報の扱いについて、少し議論になりました。情報モラルや情報活用能力について踏み込んで最近のことをお話しされていると少し話題に上がったことがございました。

【平井委員】 ありがとうございます。情報は選択科目になっていますが、大学入学共通テストも選択と言いながら多くの学校が選択しています。背景知識として学ぶことは子どもたちにとってプラスですので、最新トピックが指導の中に入っていることが重要かと思います。

【異委員】 本市の基本理念でも、全ての子どもが心豊かに力強く生き抜くというところもあると思いますが、保護者の一員としてもここは凄く強く願うところであります。道徳の教科はそういった点では非常に重要な内容が詰まっているかと思っております。人間としての生き方や考えとか、いじめ問題とか思春期の子どもたち、私の子どもも中学生ですけれども、感情が上手くコントロールできなかったり、イライラとか、モヤモヤとした、感情との上手な付き合い方とかそういったところも安全な生活への導きなどが多くあると思っております。今回、各学校のそれぞれの課題とか問題はあると思いますけれども、道徳に関しては授業において学年とかクラスの課題に落とし込んだ現状の課題に着目することにより身近な問題として生徒も深く考えられる授業になると思っております。今回、二者、あかつき教育図書と日本文教出版を上げていただいている、私も拝見させていただいて、明日へのメッセージのインタビューなどは凄く心にささるものもありましたし、あかつき教育図書のコラムも非常に考えさせられる内容が多いと思っております。教科書を見てみると、先ほどの話もありましたが、内容とか情報とか非常に書き込めるワークであったり、グループワークであったり、非常に盛り沢山の内容があります。担当する教員の裁量によって授業の質とか内容が非常に大きく変わる、非常に難易度が高いと思っています。本市は若手の教員が非常に多く、20代の教員もいると言っていたと思いますので、サポート体制もしっかり整っているということですので、力を入れていきたい教科の一つでもありますので、少しフォローやアドバイスを入れながらぜひ充実を図ってほしいと思っております。

採決の結果、委員全員異議なく、道徳について、第1地区と第2地区においては「あかつき教育図書」、第3地区と第4地区においては「日本文教出版」を採択することを可決。

【多田教育長】 ありがとうございました。以上で、4地区のすべての種目についての採択を終えることができました。

最後に、教育委員会を代表いたしまして、私から一言申しあげたいと思います。このた

びの教科書採択にあたりましては、答申資料を参考に基にしながら行ってまいりました。そこには調査研究に関わられました現場の皆様方、それから事務局の皆さんを含めて、膨大な尽力というものが、この答申資料となり、本日の審議に至ることができたものでございます。これまでの調査研究にあたられました方々をはじめ、ご協力いただいた皆様方に対し、この場をお借りして厚くお礼を申しあげたいと思います。ありがとうございました。また、前回の中学校採択に引き続きまして、今年度の中学校教科用図書採択につきましても、四つの採択地区で採択事務を進めてまいりました。「ブロックごとの教科用図書の調査研究を行うことで、より現場の意見に則した教科用図書の採択事務を進めることができる」ことについて、意義があったと考えます。今後は、事務局におきまして、この採択された教科用図書を使用して、各現場において教育実践が適切に積み重ねられますように、本日のご意見の中でも各地区の実態、実情に応じた、あるいは教科の特性に応じた指導が徹底できるような形での事務局の支援、あるいは様々なフォローということが必要だというようなご意見をたくさんいただきました。ニア・イズ・ベターの観点からも、分権型教育行政システムによる支援をさらに充実をさせて、現場の先生方とともに努力をし続けていきたいと考えております。ありがとうございました。

(5) 多田教育長より閉会を宣告

会議録署名者

教育委員会教育長

教育委員会委員
